

事業主体	北九州市（担当課 みどり・公園整備課）
事業実施場所 及び規模	事業名：八幡東田グリーングリッド整備事業 事業箇所：八幡東区東田二丁目、三丁目 事業規模：162ha
工事期間	平成24年度～平成27年度
環境配慮の 背景・目的	本事業は、北九州スマートコミュニティ創造事業の一環として、エネルギーをマネジメントするスマートグリッドとともに、低炭素社会の双翼を担う「緑と自然」を活用した街づくりである。緑の見える化やCO2削減はもとより、生物多様性や微気象の緩和など、質の高い緑化を進め、環境モデル都市のイメージアップを図っていく。
環境配慮の内容	
<p>1 生態系の保全</p> <p>(1) 在来種を活用した緑化を実施</p> <p>グリーングリッド事業の基本軸となる東田大通り公園及びスペースワールド駅前には、ケヤキや芝といった単純な植栽構成であったが、今回の整備で在来種を中心とした高木15種類、中低木23種類の植栽を行ったことで、生物多様性の向上を図っている。</p> <p>(2) 人が感じる緑の創造</p> <p>多様な植栽を行うと同時に、東田大通り公園及びスペースワールド駅前のみならず、エリア内の街路樹は3列化（歩道＋中央分離帯）するなど、高木を増やす（110本→440本）ことで緑の立体感を生み出し、人が目で見て緑量を感じるよう整備した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>施工前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>施工後</p>  </div> </div> <p>2 人と自然の触れ合い活動の場を保全・創出</p> <p>(1) 林間を散策できる園路整備</p> <p>東田大通り公園では、イベントスペースとしての芝生広場を確保しながら、植栽された樹々の間をぬって園路を整備し、夏の緑陰や秋の紅葉など四季を感じながら園内を散策できるようにした。</p>	

(つづき)

3 温室効果ガス削減、省エネルギー・ヒートアイランドへの配慮

(1) 環境配慮道路舗装

遮熱性舗装は、舗装表面に赤外線を反射させる遮熱性樹脂を塗布することにより、一般のアスファルト舗装に比べ、夏季における昼間のアスファルト舗装の路面温度を 10℃以上低減でき、夜間も舗装からの放熱量を減らすことができるため、ヒートアイランド化を抑止する効果が見込める。

本事業地内では枝光本町前田 1 号線などで遮熱性舗装を施工（延長 0.7km）し、エリア内のヒートアイランド化抑止とカラー化による景観の向上に寄与している。

(2) 省エネルギー型照明灯の設置

事業地内の照明灯の LED 化を積極的に進め、道路照明灯 89 基、公園照明灯 20 基を LED 照明に交換した。